



### 『施設代表者同士の顔の見える関係の構築と施設の退院支援の取り組み』と『第9回 看看連携研修の報告』



**藤田胃腸科病院**  
副院長兼看護部長 **西尾久美子 様**

#### 施設紹介

##### 藤田胃腸科病院の概要

大阪府高槻市  
高槻市(阪急線)駅 徒歩8分  
昭和45年に早期胃癌発見を目標に作られた、33床の専門的がん病院です。胃腸科および内科の専門診療として「早期発見・早期治療により患者様の信頼に応える」という基本理念に地域へ医療を提供しています。  
診療科目 内科、消化器内科、外科、胃腸科  
診療時間 月～土 9:00～12:00 月・水・金 17:00～19:30  
看護配置 7名 一般病棟急性期入院科1  
病床数33床、1日平均入院患者数25名、同外来患者数160名程度(検査予約含む)。



##### 入退院支援

地域連携室  
専任 MSW1名  
看護師 2名  
MSW 1名



#### 事例① 施設紹介および在宅復帰への取り組みを紹介

86歳 女性 夫と二人暮らし。問題点の抽出へ  
5年前に胃癌、胃全摘後自宅で夫が介護を行っていた。要介護1であるが、サービスの利用はなし。  
4月より寝たきり状態で食思不振、6/6意識レベル低下あり、救急搬送となった。脱水強く、るい瘦著明。  
4月より寝たきり状態で食思不振、6/6意識レベル低下あり、救急搬送となった。脱水強く、るい瘦著明。  
入院時、夫・娘と今後の方針について面談し、夫の希望 ①2人で入れる病院、施設(夫は介護保険未申請) ②自宅 介護サービス導入の必要性を説明し了承。

・経口摂取が困難であり、胃管管理が必要であったが施設では対応困難。  
・夫の希望が夫婦2人で入れる病院、施設であったが、二人のADLに差があり、病院への入院は夫は難しい。  
・施設では胃管管理が難しく、胃管を抜くことで栄養管理ができなくなると、生命維持が困難となる。  
・長年連れ添った夫婦二人で共に過ごしたいという夫の気持ちに他のご家族がどう反応されるかということ。  
・夫の思いが強く、本人の意見を聞いていない事



**済生会茨木訪問看護ステーション**  
西森 麻喜子 様

訪問看護師がどのように心理的安全性を確保しながら、看取り支援を行っているのか?患者様は、「人生の最期を自宅で迎えたい」と想いつつも「急変時の対応や入院先の確保の心配」等、良く話されます。今回は、訪問看護師がどのように心理的安全性を確保しながら在宅支援しているのか?その方法として、在宅医やケアマネジャー・ヘルパーも含めてSNSを活用し連携をとり、訪問看護師の心理的安全性を確保し、より良い在宅終末期看護が出来たことをお話しして頂ける時間を作っていただき嬉しかったです。

#### コロナ禍での訪問診療

##### 訪問診療の流れ

紹介を頂く  
入院先の病院(地域医療連携)情報提供書で確認  
地域包括支援センター・居宅介護事業所・当診療所外来  
入所施設・ご家族様

契約  
まずはいくらかかるか?

事例  
・A氏 60歳代 男性  
・20XX年切除不能進行がん・多発肝転移・リンパ節転移にて化学療法  
・20XX年+8か月貧血の進行で再入院肝転移増大で下大静脈狭窄  
・20XX年+8か月余命数日～数週間  
・20XX年+8か月退院(家族がコロナ罹患し面会ができなくなった)  
初回往診・契約  
・20XX年+8か月退院翌日 自宅にて看取り (訪問看護より連絡あり)

##### 訪問診療の料金

診療内容	初回	2回目	3回目	4回目以降
訪問診療(15分)	1,500円	1,200円	1,200円	1,200円
訪問診療(30分)	2,500円	2,000円	2,000円	2,000円
訪問診療(45分)	3,500円	2,800円	2,800円	2,800円
訪問診療(60分)	4,500円	3,600円	3,600円	3,600円
訪問診療(75分)	5,500円	4,400円	4,400円	4,400円
訪問診療(90分)	6,500円	5,200円	5,200円	5,200円
訪問診療(105分)	7,500円	6,000円	6,000円	6,000円
訪問診療(120分)	8,500円	6,800円	6,800円	6,800円

例えば  
75歳 後期高齢医療費2割負担(月2定期訪問診療)  
8200+1780+1780+1020=11780円+薬代

##### 無料低額診療

- 生活困難な方が経済的理由によって必要な医療を受ける機会を制限されないよう、無料または低額な料金で医療を利用していただく、社会福祉法に位置付けられている事業です。
- 生活が改善するまでの一時的な措置であり、公的な制度活用も含め問題解決に向け相談を行う。

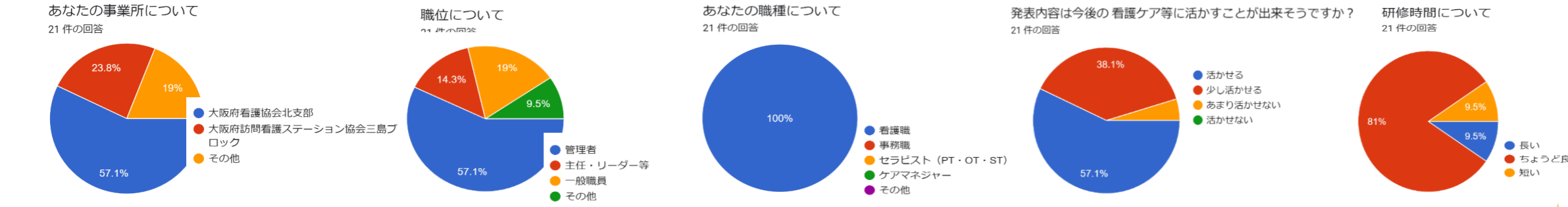
(茨木市内では済生会茨木病院と茨木診療所で行っています)



**茨木診療所 諸石 小百合 様**

・今回の事例のように在宅への移行に調整時間ないままでも訪問診療・訪問看護が決まれば看取りはできる  
・訪問診療は決して安価ではない。後期高齢者医療でも2割3割負担の方も多く、医療費が大きな負担となっている。お金の心配なく医療提供ができる社会保障が必要と考える

#### アンケート結果



#### 今希望する研修を教えてください (9件のご回答)

- ・終末期の事例検討。家族ケア
- ・エンゲージメント向上につながる取り組み事例研修などがあれば是非参加したいです
- ・外来と在宅の連携について
- ・とても今回の発表を聴く機会が有り難いと感じたので、再度お話が聴ける機会があればいいと思いました。ありがとうございました。
- ・がん患者の看取りが在宅でできることは大変うれしく感じました。私自身も親の在宅での看取りを希望しましたが、ハードルが高く協力してくれる施設がありませんでした。今後も在宅での看取りの症例の発表を継続して頂き、病院で出来ることを考えて行きたいとおもいます。とても貴重な症例ありがとうございました。
- ・改定後の介護保険
- ・実践に活かすフィジカルアセスメント
- ・災害時の地域連携
- ・発表お疲れ様でした。今後地域包括ケアシステムを推進する上でますます看看連携が重要になってきます。病院、施設、在宅、また職種を超えた様々な連携、繋がりができるような研修の継続が必要と思います。ありがとうございました。

ご協力いただきありがとうございました。



**社会医療法人愛仁会 愛仁会リハビリテーション病院**  
理事 **森田 真由美**

今回の研修は、終末期を在宅で過ごしたい独居の患者とそれを叶えたい家族に寄り添った好事例でした。今後の加速する高齢化社会の中で、こうした事例の蓄積や共有が重要だと感じました。

**編集後記 府北支部書記 青野 裕子**  
府北支部内の医療機関の代表者が顔の見える関係性づくりと在宅復帰支援の取り組みと看看連携研修での事例紹介を今回はご案内しました。個々の患者様・ご家族さまの様々な状況やニーズに対応する看護師の姿に感銘を受けています。

**研修担当者(府北役員)**  
土井 佐知子・松下 奈美  
東口 すみ江・恵 愛・西森 麻喜子

**次回研修会：人材育成セミナー(オンライン研修)**  
12月23日(土)14時～16時予定